

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語は全国と比べて高い平均正答率であり、特に「話すこと・聞くこと」については全国平均を上回っています。必要なことを質問しながら聞いたり、話し手が伝えたいこと、自分が聞きたいことの中心を捉えたりできていることから、意図に応じて話を聞くよう取り組んでいる成果が表れていることが分かります。一方、「読むこと」に関しては、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がみられます。
- ・算数の平均正答率は、全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「図形」の領域において、図形の性質を正しく理解すること、また面積の大小を判断しその理由について言葉や数で説明することなどがよくできています。一方、「数と計算」の領域については、式と問題の場面を結び付けて考えたり、答えの求め方を説明したりすることにおいて課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「人が困っているとき助けている」「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」などについて高い数値を示しています。また国語、算数ともに「最後まで回答を書こうと努力した」という児童の割合が高いです。
- ・課題となる項目
「家で計画を立てて勉強している」と回答した割合や「学校の授業以外の勉強時間が1日当たり、1時間以上ある」と回答した割合が低いことが課題です。また「図書館にほとんど、または全く行かない」と回答している割合が高いことも課題です。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・日常的に主体的・対話的で深い学びを目指し、児童の学習意欲が高まるような授業作りに取り組みます。
- ・国語の学習では、文章の内容を読み取るだけでなく、読み取ったことと身に付けた知識などを結び付け、自分の考えをまとめていく力を育てます。また図書館を利用し、複数の資料を活用して調べたり考えたりする活動を取り入れます。
- ・算数の学習では、日常生活の事象を取り上げ式に表現したり、式を場面と関連付けて読み取ったりしながら問題解決できるような力を育てます。また、計算で答えを出すだけでなく、計算の結果を基に問題場面に合った答えを導いたり、答えの求め方を説明したりする活動を取り入れます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・家庭学習の習慣化に向け、家庭で話し合い計画を立てたり、学習に向かいやすい環境を整えたりするなどのご指導をお願いします。
- ・学校生活の様子（学習のこと、友達とのこと、行事のことなど）、社会で起きている出来事などについて家族で話をする機会を作るよう心がけてください。
- ・テレビやゲーム、SNS などについてのルールを作り、守れるよう見守ってください。また家族で一緒に読書をしたり、読んだ本について話したりする時間も取りましょう。